

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1・2学年	1単位	選択
担当教員			
◎五十嵐透子			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 後期	【授業時間】 15時間	
	【担当教員】 【氏名】 ◎五十嵐 透子	【所属】 上越教育大学 名誉教授 高田西城病院 地域医療福祉部相談課	
【本学の科目区分】 共通基盤分野			
【D P 1】 <input type="radio"/> 【D P 2】 <input type="radio"/> 【D P 3】 <input type="radio"/> 【D P 4】 <input type="radio"/> 【D P 5】 <input type="radio"/> 【D P 6】 <input type="radio"/> 【D P 7】 <input type="radio"/>			

到達目標	1. 対人関係およびコミュニケーションにおける共感や態度、関連要因および自分の対人関係スタイルへの自己理解を深めるとともに共有できる。 2. 理論や概念を実際に演習を通して、自らの体験を意識化し言語化できる。 3. チームでの実践において、これまでの実践をふりかえるとともに、促進および阻害要因の理解に基づき円滑な対人関係能力を高める。								
授業概要	講義とクラス討議、および演習的活動も含めて進める。								
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>1-2</td> <td>授業内容 授業形態：講義・クラス討議 学習課題：1. “共感”再考 学習内容：・対人関係における“共感”的適切な理解を深める 備考：</td> </tr> <tr> <td>3-4</td> <td>授業内容 授業形態：講義・クラス討議・演習 学習課題：2. コミュニケーションにおける自己理解：自己防衛・対処行動・対人関係コーピングなど 学習内容：・さまざまな防衛機制、対人関係コーピング・スタイルなどの理解に基づき、自己理解および他者理解につなげる 備考：・ストレッサーに対する適切な理解と考え方の理解と検討</td> </tr> <tr> <td>5-6</td> <td>授業内容 授業形態：講義・クラス討議・演習 学習課題：4. 非言語的行動と言語的行動の理解 学習内容：・コミュニケーションの聴き手の体験と効果的な対応やかかわり方の検討 備考：</td> </tr> <tr> <td>7-8</td> <td>授業内容 授業形態：講義・クラス討議・演習 学習課題：5. 包括的理とチームでの協働の再検討 学習内容：・多職種協働 ・支援対象の包括的理とチームでの体操におけるコンサルテーションやカンファレンス、関連活動の理と実践 ・ためこみ症に関する包括的理を通して検討する 備考：</td> </tr> </table>	1-2	授業内容 授業形態：講義・クラス討議 学習課題：1. “共感”再考 学習内容：・対人関係における“共感”的適切な理解を深める 備考：	3-4	授業内容 授業形態：講義・クラス討議・演習 学習課題：2. コミュニケーションにおける自己理解：自己防衛・対処行動・対人関係コーピングなど 学習内容：・さまざまな防衛機制、対人関係コーピング・スタイルなどの理解に基づき、自己理解および他者理解につなげる 備考：・ストレッサーに対する適切な理解と考え方の理解と検討	5-6	授業内容 授業形態：講義・クラス討議・演習 学習課題：4. 非言語的行動と言語的行動の理解 学習内容：・コミュニケーションの聴き手の体験と効果的な対応やかかわり方の検討 備考：	7-8	授業内容 授業形態：講義・クラス討議・演習 学習課題：5. 包括的理とチームでの協働の再検討 学習内容：・多職種協働 ・支援対象の包括的理とチームでの体操におけるコンサルテーションやカンファレンス、関連活動の理と実践 ・ためこみ症に関する包括的理を通して検討する 備考：
1-2	授業内容 授業形態：講義・クラス討議 学習課題：1. “共感”再考 学習内容：・対人関係における“共感”的適切な理解を深める 備考：								
3-4	授業内容 授業形態：講義・クラス討議・演習 学習課題：2. コミュニケーションにおける自己理解：自己防衛・対処行動・対人関係コーピングなど 学習内容：・さまざまな防衛機制、対人関係コーピング・スタイルなどの理解に基づき、自己理解および他者理解につなげる 備考：・ストレッサーに対する適切な理解と考え方の理解と検討								
5-6	授業内容 授業形態：講義・クラス討議・演習 学習課題：4. 非言語的行動と言語的行動の理解 学習内容：・コミュニケーションの聴き手の体験と効果的な対応やかかわり方の検討 備考：								
7-8	授業内容 授業形態：講義・クラス討議・演習 学習課題：5. 包括的理とチームでの協働の再検討 学習内容：・多職種協働 ・支援対象の包括的理とチームでの体操におけるコンサルテーションやカンファレンス、関連活動の理と実践 ・ためこみ症に関する包括的理を通して検討する 備考：								
事前・事後学習	事前学修：受講生の専門領域における対人関係に関する関心事項、課題、学びたいことをA4 1枚にまとめ、講義担当者に送信する。 事後学修：講義全体で学んだことに関し、レポートを作成する。								
評価方法、評価基準	・2/3以上の出席がある者を評価対象とする。 ・到達目標1～3について、クラス討議の参加状態（30%）、レポート（事前20%：事後50%）により評価する。								
テキスト	・五十嵐透子（2003）.自分を見つめるカウンセリング・マインド：ヘルスケア・ワークの基本と展開. 医歯薬出版、東京。 ・五十嵐透子（2020）. ヘルスケア・ワーカーのためのこころのエネルギーを高める対人関係情動論 “わかる”から“できる”へ 2版. 医歯薬出版、東京								
参考図書・資料等	適宜、資料を配布する。								

受講、課題、資料配布等のルール	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前レポート：添付書類（word）で1回目の講義開始2週間前までに提出する。件名は必ず「新潟県立看護大学大学院 対人関係特論事前レポート」とする。</li> <li>事後レポート：添付書類（word）で提出する。件名は必ず「新潟県立看護大学大学院 対人関係特論」とする。</li> <li>送信先は仮として、<a href="mailto:igarashi@juen.ac.jp">igarashi@juen.ac.jp</a>とする。変更のある場合は、履修登録者には事務局より連絡が入る。</li> </ul>
教員からのメッセージ	講義は、土曜日の集中講義とする：10-11月の土曜日2回行う。
オフィスアワー	メールにてご連絡ください（ <a href="mailto:igarashi@juen.ac.jp">igarashi@juen.ac.jp</a> ）。